



2021年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月26日

上場会社名 株式会社 ナイガイ

上場取引所 東

コード番号 8013 URL <http://www.naigai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 市原 聡

TEL 03-6230-1654

四半期報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	2,091	44.2	590		581		675	
2020年1月期第1四半期	3,745	5.1	69	58.9	71	61.0	49	67.4

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 962百万円 (%) 2020年1月期第1四半期 27百万円 (9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	82.29	
2020年1月期第1四半期	6.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	13,626	7,762	57.0
2020年1月期	12,829	8,724	68.0

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 7,762百万円 2020年1月期 8,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期				0.00	0.00
2021年1月期					
2021年1月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では連結業績予想の合理的な算定が困難なため、2020年3月13日に公表いたしました連結業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期1Q	8,217,281 株	2020年1月期	8,217,281 株
期末自己株式数	2021年1月期1Q	7,168 株	2020年1月期	7,040 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期1Q	8,210,176 株	2020年1月期1Q	8,210,685 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるインバウンド需要の激減や、緊急事態宣言後の経済活動の停滞により急速に悪化しており、極めて厳しい状況となりました。

衣料品業界におきましては、暖冬による冬物セールの販売不振に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による商業施設の営業自粛と個人消費の急激な落ち込みにより、売上が大きく減少いたしました。

こうした中、当社グループは、当社を取り巻く様々な環境の変化に対応すべく、卸売り偏重の体質から、卸売りビジネスと小売りビジネスを両輪とする事業構造に再構築することが喫緊の課題と考え、新流通販路の開拓や自社運営店舗並びにナイガイ・オンラインショップでの販売拡大に一層努めるなど、第4次中期経営計画の軌道修正に着手しましたが、緊急事態宣言発出後の外出自粛や企業活動の制限により、商業施設が長期間臨時休業を余儀なくされるなど十分な営業活動が出来ない状況となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,091百万円（前年同期比44.2%減）、営業損失は590百万円（前年同期は69百万円の利益）、経常損失は581百万円（前年同期は71百万円の利益）となり、さらに固定資産の減損損失91百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は675百万円（前年同期は49百万円の利益）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う売上減、在庫増加に対応して、生産調整や販売戦略の見直し、経費削減等、様々な事業活動の見直しに着手しております。また、新型コロナウイルス感染防止への対応として、靴下編み機で製造したニットマスクの販売を開始したほか、手作りマスクのゴムの代用品として使える靴下の端切れの提供を行いました。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

（卸売り事業）

卸売り事業につきましては、百貨店販路では、当社1社体制の売り場並びに服飾雑貨企業との連合自主運営売場の拡大による販売拡大に注力し、量販店販路では、独自性のある当社商品を活かしたカテゴリー専門チェーンなどの新規販路開拓に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3月に予定していた100周年イベントや催事販売が縮小、中止に追い込まれたことに加え、緊急事態宣言発出後は、ほぼ全ての店舗が営業自粛を余儀なくされたことなどから、大変厳しい状況となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間での卸売り事業の売上高は1,724百万円（前年同期比48.0%減）、営業損失は539百万円（前年同期は84百万円の利益）となりました。

（小売り事業）

小売り事業につきましては、インターネット販売を展開するセンチーレワン株式会社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、例年需要が増加する3～4月のバック販売が苦戦しましたが、レグウェアにつきましては、広報室との連動によるSNSからの誘客施策が奏功してバレンタイン商材の販売が順調に推移したのに加え、外出自粛後の巣ごもり需要の増加でルームソックスやアンダーウェアの販売が好調でした。

ハッピーソックスの直営店事業は、TOKYO2020開催を見据えた別注商品の企画やPOPUPショップの開催が全て中止になったほか、インバウンド需要の減少、緊急事態宣言発出による直営店舗の臨時休業などにより、厳しい状況となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の小売り事業の売上高は366百万円（前年同期比14.7%減）、営業損失は50百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して797百万円増加し、13,626百万円となりました。流動資産では、現金及び預金が1,374百万円、商品及び製品が1,180百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,505百万円減少しました。固定資産では、投資有価証券が時価の下落により303百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に対して1,760百万円増加し、5,864百万円となりました。電子記録債務が436百万円、短期借入金が1,797百万円増加し、返品調整引当金が236百万円減少しました。なお、短期借入金の増加は、新型コロナウイルス感染症拡大による資金繰り悪化予測に備え、銀行借入を1,800百万円実行したためであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失675百万円の計上とその他の有価証券評価差額金の減少265百万円等により、前連結会計年度末に対して962百万円減少し、7,762百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に対して11.0ポイント減少し、57.0%となりました

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大により、当面は厳しい経営環境が続くことが予想され、当社グループの業績にも少なからず相当の影響を与える見込みですが、今後の消費市場への影響の大きさ及びその期間につきましては、いまだ不透明な状況であり、現時点でその影響額を合理的に見積もることは困難なため、2021年1月期の連結業績予想は、一旦未定とさせていただきます。

今後、感染第2波のリスクも含め、市場環境の見通しが一定程度判断できる段階となりましたら、改めて通期業績予想を算定の上、公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,811	5,185
受取手形及び売掛金	3,160	1,655
商品及び製品	2,744	3,924
仕掛品	8	17
原材料及び貯蔵品	83	92
その他	414	510
貸倒引当金	△34	△15
流動資産合計	10,189	11,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104	77
土地	78	71
その他（純額）	145	126
有形固定資産合計	328	276
無形固定資産	131	83
投資その他の資産		
投資有価証券	1,956	1,653
その他	230	257
貸倒引当金	△7	△14
投資その他の資産合計	2,179	1,896
固定資産合計	2,639	2,255
資産合計	12,829	13,626

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	825	824
電子記録債務	744	1,181
短期借入金	236	2,033
未払法人税等	55	21
賞与引当金	49	99
返品調整引当金	486	250
株主優待引当金	15	14
その他	577	402
流動負債合計	2,988	4,825
固定負債		
退職給付に係る負債	952	913
繰延税金負債	106	67
その他	56	57
固定負債合計	1,115	1,038
負債合計	4,104	5,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,691	7,691
資本剰余金	6,781	6,781
利益剰余金	△6,140	△6,816
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,328	7,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	33
為替換算調整勘定	96	76
その他の包括利益累計額合計	396	110
純資産合計	8,724	7,762
負債純資産合計	12,829	13,626

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年2月1日 至 2019年4月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）
売上高	3,745	2,091
売上原価	2,047	1,201
売上総利益	1,698	890
販売費及び一般管理費	1,629	1,480
営業利益又は営業損失（△）	69	△590
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	2	6
持分法による投資利益	—	0
その他	4	4
営業外収益合計	7	12
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	1	—
その他	1	1
営業外費用合計	5	3
経常利益又は経常損失（△）	71	△581
特別損失		
減損損失	—	91
特別損失合計	—	91
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	71	△673
法人税、住民税及び事業税	22	3
法人税等調整額	△0	△1
法人税等合計	22	1
四半期純利益又は四半期純損失（△）	49	△675
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	49	△675

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49	△675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△227
為替換算調整勘定	7	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△38
その他の包括利益合計	△21	△286
四半期包括利益	27	△962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	△962

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当社の主要販路である百貨店において、当第1四半期連結累計期間の一部期間で営業自粛を行ったほか、当社直営店においても臨時休業や営業時間の短縮などの対応を行っています。

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響が、6月以降緩やかに回復するものの、少なくとも2021年1月末まで継続するものと仮定し、固定資産の減損会計等の会計上の見積りに反映しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年2月1日 至 2019年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	卸売り事業	小売り事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,315	429	3,745	—	3,745
セグメント間の内部売上高又は 振替高	44	—	44	△44	—
計	3,360	429	3,789	△44	3,745
セグメント利益又は損失 (△)	84	△14	70	△1	69

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	卸売り事業	小売り事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,724	366	2,091	—	2,091
セグメント間の内部売上高又は 振替高	82	—	82	△82	—
計	1,807	366	2,173	△82	2,091
セグメント損失 (△)	△539	△50	△589	△0	△590

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

卸売り事業セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を91百万円計上しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。